

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成 27年11月13日（金）
 現地視察後 全員協議会室
 8時 55分 ～ 14時 26分

【委 員】 笹田委員長、飛野副委員長

串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】 足立、岡野、柳楽、小川、野藤、上野、岡本、道下、田畑、澁谷、西村、江角

【議長団】 議長

【執行部】

（産業経済部） 中村産業経済部長、田村産業経済部次長（兼産業政策課長）、竹中産業振興課長、
 佐々本広島市場開拓室長、川神農林振興課長（併農委事務局長）、吉田水産振興課長、
 石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

（都市建設部） 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長（兼建設企画課長）、吉田建設整備課長、
 宮下地籍調査課長、坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、吉川災害復興室長、
 中谷建設庶務係長

（上下水道部） 岸本工務課長

（地域政策部） 砂川地域政策部長、岡田プロジェクト推進室長

（金城支所） 吉永金城支所長、芹原金城支所産業建設課長

（旭支所） 田村旭支所長（兼産業建設課長）

（弥栄支所） 細川弥栄支所長、後野弥栄産業建設課長

（三隅支所） 斎藤三隅支所長、岡田三隅産業建設課長、吉野三隅防災自治課長

【事務局】 鎌原書記

議 題

1. 執行部報告事項

- (1) 浜田市デジタルフォトコンテストについて(産業政策課)
- (2) 浜田市プレミアム付共通商品券の販売状況について(産業政策課)
- (3) 漁業別水揚げについて(水産振興課)
- (4) 美又温泉国民保養センターについて(金城支所産業建設課)
- (5) 旭温泉あさひ荘木質チップボイラの状況について(旭支所産業建設課)
- (6) 浜田市有施設における旭化成建材の杭工事実績について
 (建築住宅課・上下水道部工務課)
- (7) 市道路線等の現地視察について(維持管理課)

(8) 三隅中央会館和紙の郷（石州和紙会館）について(三隅支所防災自治課)

(9) 浜田城周辺整備検討会の設置について(地域プロジェクト推進室)

(10) その他

浜田港長期構想検討委員会について

2. その他

【議事の経過】

[8 時 55 分 開議（東分庁舎前駐車場）]

笹田委員長

おはようございます。

本日、牛尾昭委員が欠席ということで、出席委員は6名ですが、定足数に達しておりますので、直ちに本日の調査会を開催いたします。

それでは、委員の皆様、本日の調査会の流れ等についてご説明いたします。

お配りした資料のレジメをご覧ください。

本日の調査会では、これから11時頃まで、議題1の(7)市道路線等の現地視察を、資料の後ろに付けております「現地視察行程表」のとおり行い、市役所に戻って、議会全員協議会室において調査会を再開し、レジメのとおり、現地視察を除く9件について報告・説明を受ける予定です。

以上ですが、委員の方から、何か質問等ありますか。

それでは、このまま現地へ向かいますので、よろしくをお願いします。

(4ヶ所現地視察)

[視察終了 10 時 25 分]

[帰庁後、10 時 57 分 再開]

笹田委員長

定刻より早いですが、今日の調査会を開催するにあたり、傍聴される議員様に失礼があったみたいで、10時からの開催ではなく待たれた議員もおられるとのことで大変失礼しました。今後きちんと連絡が行くようにしてもらおうと思います。どうも失礼いたしました。

それでは産業建設調査会を開催する前に、先日の臨時議会で正副委員長の改選がありましたので、一言ご挨拶申し上げます。

(以下、新正副委員長の挨拶)

今日は牛尾昭委員から欠席届が出ていますので、欠席ということでよろしくをお願いします。

それでは産業建設調査会を再開します。

1. 執行部報告事項

(1) 浜田市デジタルフォトコンテストについて

(2) 浜田市プレミアム付共通商品券の販売状況について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

(1) について委員から何かありますか。

布施委員

使用目的として、今後は販促物やウェブサイトで使うとのことと理解はするんですが、今ある販促物やウェブサイトの写真は、何年前ぐらいにこういったことを実施して使っておられたのかという疑問と、今回新

しくされるわけですが、浜田市写真共有サイト「はまこれ」、市のホームページから探せますが、その中に色々規約が書いてあった中で気になったのが、プロアマは問わないという理解でよろしいのでしょうか。

産業政策課長

今ウェブサイト等で使っている写真は、広報や観光課で撮られた写真を使用している状況であり、写真コンテスト等の作品ではありません。なのでどちらかと言うと、風景的な写真が殆どではないかと思っていますが、それだけでは魅力に欠けるので、今回のコンテストとなっています。

それから、プロアマ問わないという点ですが、出来るだけ多くの写真を集めたいということと、浜田に魅力を持ってもらう写真であればプロ視点、アマ視点色々ありますが、広く求めたいということと、出来るだけ多くの方に関心を持ってもらう、まずは目にとめてもらうような写真にしたいと思っていますので、プロの参加も認めました。

布施委員

分かりました。これをやるにあたって担当課として気づかれた部分と、他市のパンフレットや定住に関する案内等と比較して、見劣りすることに気づいて実施されたような感じもしますが、本来の目的は気づいていただくこと。行ってみたい住んでみたいという気を起こしていただくためのツールだと思っています。その中で、写真は写真でよろしいのですが、今年度の情報発信事業としてやるのだと先ほど言われましたが、今全体的に注目されているのが、ご当地動画でPRすることがインターネットで周知される状態です。そういったステップアップをすることについての情報発信事業として考えておられるのかどうか。

産業政策課長

仰るとおりホームページ、ウェブサイトを見ていただくためには目にとまる写真や動画が必要だと思っています。他所の色々なサイトを見ても、動画が多いなど。動画で関心を植え込む、アピールする視点が最近増えていると感じています。ですが今回浜田市では、まずは写真から初めてみて、浜田市の隠れた資源の発掘といったものを確認する中で、今後の動画への発展を検討していければと思います。

串崎委員

私の思いを言ってみたくと思います。募集テーマは「行きたい、見たい、住みたい」とありますが、食の関係があっても良いのかなと思います。あと、賞金20万円ということですが、誰が審査するのか。観光協会さんのようですが、かなり目が利く方が審査されるべきだと思いますが、どうですか。

産業政策課長

「食べたい」も含めてはどうかということでした。当然、観光客の方に興味を持ってもらう一番大きな物は「食べたい」だと思います。当然、ここには食べたいは入れていませんが、これは飽くまで写真の募集テーマとして挙げてありますが、情報発信の中では食べることについても積極的にPRして、食も目的として来てもらうような構成にしたいと考えています。

それから審査員ですが、浜田市や観光協会のメンバーも入りますが、それ以外に市内の写真家や、島根県の写真作家協会の方とか、松江市在住で二科会の特別会員である川本さんという方がおられますが、その方も審査員候補として考えています。そういったプロの視点からも審査していただけるようにしたいと考えています。

原田委員 3番の各賞のうち、季間賞はどういう意味を持つ賞ですか。季節的な物なのかなという感じはしますが。

産業政策課長 27年度は12月1日から2月29日までと期間も短いので、その期間をくくりとさせていただきますが、28年度以降は四季ごとに作品を審査したいと考えています。

笹田委員長 他に。ないようなので(2)についてどうですか。

串崎委員 完売とのことでご苦労様でした。第二次販売が行われた11月11日は記念日の多い日ですが、粋な計らいですか偶然ですか。

産業政策課長 仰るとおり11月11日は、良い月良い日というか、色んな解釈に繋がる日ですが、うちとしては拘ったわけではありません。出来るだけ早く販売したいのもありましたし、533セットと数も少なかったのも、あまり負担にならないことを配慮しました。そうすると土日が良かったのかという意見もありましたが、11月中旬については各支所でも色んな行事が入っていたので、平日ではありますがたまたま11月11日にさせていただきました。

布施委員 第一次販売で98パーセントのセット数が売れ、11月11日は残りセット数を販売されたと思いますが、セット数の配分は第一次販売は各支所で残っていたものを売ったんですか。

また、聞く所によると本庁では5時過ぎから並んでおられて、時間どおりに来た方が買えなかったという苦情があった気がします。これを受けて、今後色んな面(商品券その他の販売時)への反省事項等、担当課として感じられたことがあればお願いします。

産業政策課長 二次販売における各売り場の販売数の根拠ですが、本来であれば人口割りが公平だとは思いますが、実施主体の商工会議所や商工会とも色々協議をさせていただいた結果、浜田市本庁で全体の75パーセント、それ以外を各支所ですというところですが、各支所での販売数が少なくなるとかえって少量に対して誘客の魅力がなくなり、十分な対応が出来ないという部分もあったので、半々という形にさせていただきました。ただし支所については人口割りで配分させていただいています。

今回の販売にあたっての反省点ですが、本庁の場合は朝5時半頃から並び始め、8時過ぎには283セットを販売予定としていましたが、その予定数に達する勢いで希望者が来られ、その後もどんどん来られました。この状況は本庁のみでなく各支所においても、販売開始前から来られて並んでおられました。今回は早く来られた方から優先的に販売しましたので、トラブルのないようにということで整理券ではないですが、販売数を確認しながら、列に並んで待ったけど買えなかった人が出ないように配慮しながらやりました。ですが反省とすれば、本庁の場合だと販売予定数に達してもどんどん車が入ってきましたが、9号線の信号のあたりで予定数に達した旨の表示をして欲しかったとか。表示は出していましたが「完売」という表現だったので、9時になってないのに完売とはどういうことだという誤解がありました。それについては現場にいた職員で対応させていただきましたが。既に約束された人がいたんじゃないとか、色んな誤解を招きましたので、それについては反省しなければなりません。担当部署としては、本庁内に列を作らなくても、足を運ばなくても

済むように配慮したつもりでしたが、実際に駆け付けた方にしてみれば、その状況を確認したかったという方もいらっしゃいました。いずれにしても前回（20年、21年）の販売の反省点も踏まえてしっかり対応したつもりでしたが、色んな面でご意見をいただいたので、これは今後機会があれば活かしたいと思います。

布施委員

担当課が駐車場で対応される姿は私も目にしていました。私も言われたのが「9時になってないのに完売しましたと出ていたのはおかしいんじゃないか」という苦情です。しっかり今後の反省点としてください。

それと、車いすで送ってもらって買いに行こうと思ったけど、手間取ってしまい9時過ぎてしまった。行ったら駐車場も満車で完売していたので買えなかったと。このように交通の便が不利な方から、欲しかったのに買えなかったと聞きました。是非反省していただき、次は色んな面を改善していただきたいと思います。

（3）漁業別水揚げについて

笹田委員長
水産振興課長
笹田委員長
布施委員

執行部から説明をお願いします。水産振興課長。

（以下、資料をもとに説明）

委員から何かありますか。

どんちっちアジの報告がありました。前年を見ると量は増えているんですが売上高が23パーセントとのことで、これは小型アジしかとれず金額が上がらなかったためだと理解して良いのか。もう1つは、どんちっちアジはブランド品ですから、他への影響がかなり出ているのではないかと思うんですが。

水産振興課長

今年度は真アジが不漁です。昨年なら量は少なかったですが大型の真アジがとれていましたので水揚げ金額が大きい。今年とはとれても小型の真アジのため、どんちっちアジが少なかったということです。

それからノドグロやカレイへの影響ですが、お歳暮や中元シーズン向けに三魚セットというのがありますが、原料がとれなかったことで影響が出ていると考えます。

布施委員

ふるさと納税にも三魚セットがあると思いますが、発送を待っていただくといったことはなかったですか。

水産振興課長

ふるさと納税の担当部からは、そういった話は聞いていませんが、原料自体が少なかったとのことなので、多少は影響が出ていると思います。

布施委員

将来的なことを言うてはいけませんが、回復の兆しや原因等の分析はされていますか。

水産振興課長

シーズンが始まる前に水産技術センターさんに、今年の真アジの資源量について色々お聞きしました。その時は前年並み、そんなに悪い状況ではないというお話だったので安心していたんですが、いざ蓋を開けてみればこのように真アジがとれない状況がおきました。原因としては自然環境、色んな海流、塩分量、海水温、色んな要素があって計りしれない所があるんですが、ちなみに東北のサンマ漁も半減しているそうで、なかなか自然は読めない。イワシの方が島根県東部や境港の方では今シーズン良いそうです。

原田委員

9月末時点の水揚げ金額が前年比77パーセントということですが、今年

もあと1ヶ月あまりしかありません。市長は100億という大きな目標を掲げておられますが、到達は非常に厳しい状況ではないかと思えます。今までも意見は色々出ていますが、どうやって100億に近づけようとしているのか。今検討中である荷さばき所の問題だとか、冷蔵庫の問題だとか色々ありますが、どのような方策を取っていかようとしておられるのか伺います。

水産振興課長

10年後に100億という目標を市長があげています。現課としてもそれに向かって色んな取り組みを進めています。ロードマップで市民にお示しさせていただいていますが、100億を達成するためにまずは漁船老朽化対策を含めた地元漁船の確保・存続ということで、沖底線のリシップ事業をやって……統数が減れば沖合底引き網で言うと年間3億の水揚げが1ヶ統でなくなってしまう。それに関連する企業もおられるので、かなりの損失になるということで、まずはそこをやっていきます。

次は地元の巻き網船についても同様に、存続させるためにどうするかということでやっています。

それから市場の整備です。大量に魚を受け入れるためには市場の整備、特に特三漁港では高度衛生管理型市場ということで、衛生管理が整った市場でないといけませんので、東京の豊洲の方に新しい市場がもうすぐ出来ます。当然それは衛生管理が整った市場なので、産地の市場も衛生管理が整っていないといけない、そうしないと逆に東京に物が行っても売れません。それから浜田エリア活性化対策ということで、色んな地域プロジェクトも含めてやっています。そういった取り組みをやっていく中で、目標に向かって担当課としては進めていきたいと思えます。

笹田委員長
原田委員

10年後といっても8年後ですけど。

委員長が言われるように8年後なんですけど、自然が相手なので難しいとは思いますが、年次的な計画等も作りながらやっていかないと、なかなか100億は難しいんじゃないかという気がします。ポートセールス等もやってきてはいますが、これもどこまで効果が上がっているのかというのも我々分かっていません。どういう状況なんでしょうか。

水産振興課長

水産というのは年次計画が立てにくいんです。昨年は一昨年よりも水揚げが増えていたので伸びて欲しいんですが、なかなかそういった計画が難しい。それから先ほどありました高度衛生管理型市場ですが、陸揚げ方式をトラックスケール方式といって大量にさばける施設も入れた方がよいとのことで検討しています。そうしますと巻き網船でも大中型の舟が受け入れられるようになり、水揚げ金額の増に繋がりますので、それを目指して検討しています。

ポートセールスは市議会議員さんにもご協力いただいております。今はイカ釣り船のポートセールスに行っていますが、まだ速報値なんですけど、10月にイカが大量に揚がっています。漁場が出来れば浜田に来てくださいとポートセールスしています。漁場が出来れば浜田に行こうという方もおられるんじゃないかと。効果はそういった形であるんじゃないかと思えます。

牛尾博美委員

水揚げとは直接関係無い話ですが、今累計で31億、これを10、11、12でやっても恐らく50億切れるんじゃないかという心配をしています。課

長が色々説明されて、漁獲高については、ある意味水ものと言われ、海水温や海流とか様々な自然環境の変化があって、計画立ててやるのはなかなか難しいとは思いますが。聞いてみたいのは、JFしまねになって4、5年になります。浜田市漁協の時には、まだ浜田市水産課と浜田市漁協はコミュニケーションが取れていたと思いますが、今のところJFしまねと浜田市水産課、浜田の漁業関係者の関係というのは順調にいつているんですか。それともイマイチなんですか。

水産振興課長

JFしまねが県一漁協ということで合併されています。本所が松江にあるので、浜田市漁協さんに比べればなかなか意思疎通が難しい所があるのが正直な思いです。ただこうやって水揚げを増やすための施策、市場の整理のこととかをJFしまねさんとお話しないと行けませんし、役員メンバーにも入ってもらっていますので、そういった所でお話を進めています。

漁師さんと漁協との関係については、浜田支所と話はされているものと私ども考えていますが、本所と支所の関係については私どもでは分からない部分です。

牛尾博美委員

なかなか難しいことだと思いますが、あまり引いて物を考えないでもっと早く漁港整備も、特三の漁港であれば本当なら一番に浜田港の整備をやるべきだったと、市民の皆さんは思っているんだけど一番遅れたような部分もあって、積極的にJFしまねの支所長なり、本所に直接言うのは難しいかもしれないけど、色んな要望や意見を呼び掛けて対応していただくようにやっていかないと、JFしまねの本部だけが「言うてくるからやる」といった受け身の態勢でいると、水揚げが少ないとはいえないかと思うんですよ。関係者や浜田市の考えも含めてJFしまねに積極的に投げかけることをやっていただかないと、いつも向こうがやるのを待っている、理事長・会長の言うことだけを待っているのはいかなものかと思うので、その辺はもう少し積極的にやっていって欲しいと思うんですがどうですか。

水産振興課長

浜田支所にはこのたび新しい支所長さん、落合さんという方が来られています。色んな課題はお話させていただいています。今日も定置網の件でお話したいということで、漁協さんに行きました。担当課としてはそういった所で意思疎通をはかっています。JFしまねのトップさんとのお話については、事あるごとに市長が直接、地元の要望等を伝えていきます。

特三漁港の中で市場の整備が遅れたという話がありましたが、市場はJFさんの持ち物なので、持ち主さんがどうされるかがなかなか決まらなかったのもあって遅れました。そういった所で市長、県、JFさんの三者で合意が取れたので、遅ればせながらスタートした状況です。

笹田委員長

原田委員の発言で、年次計画で100億円と言ったからにはシミュレーションが……荷さばき所が出来ればどれくらい水揚げが上がるかというものがないので。委員の方々100億円に疑問を持っておられるので。難しいのは僕も水産関係者なので分かっているのですが、努力していただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

水産振興課長

委員長も水揚げの件は色々ご存知だろうと思います。年次計画を出

すのは非常に難しいと思います。もちろん8年後に100億というのを目指して取り組みを続けていますが、数字が独り歩きをするようなことも考えられますので、担当課としては厳しいかなと考えています。

笹田委員長
原田委員

既に数字は独り歩きしているので、把握しておいていただけると。

残念ながら偽装事件が発生しましたよね。この件については浜田市の水産業に与えることについては、どのように把握されているのか、もし分かればお答えください。

水産振興課長

残念なことに市内の水産加工業者の方が、産地表示が不適切だったとのことで県の保健所から指導を受けました。新聞にも掲載されました。そういうことがあったので、浜田市としては副市長をトップに、担当課ですぐに対策会議を開き、対応を考えました。その対応を検討する中で、市内の他の加工業者さんでも同じようなことがあってはならないということで、保健所に講師の派遣を依頼し、食品表示の研修を先般開かせていただきました。表示が不適切だった企業さんにとっては売上が下がっているのは間違いないと思います。ただそれが、浜田の他の業者に広がらないように、研修会の中でもう一度表示について勉強して、間違いがないようにというのが狙いです。

原田委員

分かりました。あまりこれが拡大するようなことは今の状況ならないということですね。そういうことがあってはいけないわけで、水産業の方も一生懸命やっておられるので、そういうことは行政としてもきちんと指導していただくことをお願いします。

笹田委員長

その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(4) 美又温泉国民保養センターについて

笹田委員長
金城産業建設課長
笹田委員長
布施委員

執行部から説明をお願いします。金城支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

委員から何かありますか。

美又温泉旅館組合に運営を1年間任せるとのことで、4月から始まって3分の2が経過しました。先ほどの報告では3万2,000人に対して4万人くらい来るのではないかと、概ね目標を上回るから良いと受け止めたんですが、1年間というあと3分の1しか期間がないわけですが、指定管理者の選定や、これでやっていくんだということを打ち出していかれると思うんですが、万が一、施設や設備の老朽化の問題をクリアしないと、1年が2年になる可能性もあるんじゃないかと感じましたが、どうですか。

金城産業建設課長

今年1年間暫定的に始めさせていただいています。リニューアルオープン当初はトラブルがあったのも事実ですし、温泉組合さんに業務委託という形でやっており、サービス面でも充分行き届かなかった点があるところです。指定管理については検討委員会の中でも、あの施設を指定管理に出せば多額の指定管理料が発生する可能性があるのも、もし続けるのであれば現状の日帰り温泉が望ましいのではないのでしょうか、という意見が来ています。検討委員の方々ともお話してご意見をいただきましたが、折角4万人の方が来てくださっているのに、もし1年2年途絶えれば、

次のステップに繋がらない場合があるというご意見もいただいています。私どもとしてはもう1年あるいは長くても2年、なんとか継続できないか地元にご相談しています。ただ、飽くまでも多額の費用をかけての修繕は考えておらず、軽微なもので対応していきたいと思えます。

布施委員

基本的には美又温泉は美人湯で、私も何度か利用させていただいています。一番の問題点は集客だと思っています。情報発信なり三湯めぐりとか色々あります。それについてしっかりしていかないと、いくら足湯だ公園整備だとやったところで、限られた客数の取り合いになると思えます。その辺についても一緒になって戦略を練っていただきたいと思えます。施設の老朽化だけではなく集客に力を入れていただきたい。温泉は良いのですから。どういう考えでしょうか。

金城産業建設課長

ご指摘部分ですが、温泉組合さんに運営は委託していますが、ホームページもあり我々でいつもリニューアルはやっていますが、情報発信の仕方が充分でないのは知っていますし、温泉組合の方でも温泉祭りという、昔は週末に神楽をやったこともあるんですが、そこにも手が回っていないのが事実です。先ほどフォトコンテストの話がありましたが、四季折々の景色に皆さま関心があるようなので、そういうのもホームページに載せながら、小さなイベント等もやりながら情報発信、集客に地元と一緒に取り組んでいきたいと思えます。

金城支所長

本日配布している資料の、3つめのポツのところですが、「民間誘致に向けた環境を整える」これは委員会の意見を抽出させていただいたものですが、まさに布施委員さんがおっしゃるとおりで、しつらえが足りないという指摘をいただいています。この検討委員の中に広島から2名の方、大学講師の先生と広島商工会議所の方に参加していただいて、まさにそのご指摘をいただいています。まだ2回目の検討会しか開催出来ていませんが、11月の検討会では広島から見たしつらえについて提案をしたいという意見をいただいていますので、本日この調査会でいただいた意見やご指摘にも対応してまいりたいと思えます。

笹田委員長
串崎委員

その他。

この検討会議のメンバー、大変難しい状況の中で検討会が重要な役割をしているんだろうと考えます。広島から2名とお聞きしましたが、他にどういう方がいらっしゃるのか。これが毎月ずっとやっていくものなのかお聞きしたいです。あと、レストランにはメイン料理等の考え方があるのかないのかはどうでしょうか。

金城産業建設課長

メンバーについては11名で構成しており、建築家でかつ大学の非常勤講師、あるいは元教授をやっておられた方、商工会議所に属されて自ら福祉関係施設を運営されている方、浜田市金融界からは合銀石見地域本部長様、この3名に有識者として入っていただいております。あとは商工会、県の方、あとは地元組織の方に入っております。またその他のメンバーとしては今後、話の熟度が増した時点で外部の方も呼びたいということで、広島のお二人をお呼びしたいと考えています。

それからこの会は、日程的には月2回はどうしても難しく、今は月1回ペースとなっています。長くとも3月早い時期まで、毎月1回ペースでやって3月中にはある程度の方向性は纏めたいと思えます。

レストランについては組合様が運営されています。市としては場所を提供している形です。昨日の日本海テレビ6時20分くらいから放映していましたが、黒カレー、ちょっと値段は高いですが本格的な薬膳カレーで人気があります。それと黒うどん。黒に拘っていますが黒豆腐、そういったものが名物となってお好評いただいています。

それからご質問にはなかったですが、地元でも産直市を、金土日祝日に開催しています。毎月60万から70万の売上があり結構人気です。ただ、早めに物がなくなるので品揃えや数といった課題が出ています。地域でも色んなカフェ等を考えておられます。地域も工夫をされて一緒に、美又地域の活性化ということで関わっていただいています。

笹田委員長

はい。他にありますか。

(「なし」という声あり)

昼になりましたので、ここで休憩します。再開は午後1時からとします。

[12時 00分 休憩]

[12時 56分 再開]

笹田委員長

少し早いですが皆さんお揃いのようなので、産業建設調査会を再開します。

(5) 旭温泉あさひ荘木質チップボイラの状況について

笹田委員長

旭産業建設課長

笹田委員長

串崎委員

執行部から説明をお願いします。旭支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

委員から何かありますか。

資料の関係で、小さいことを言って申し訳ないですが、チップボイラで横棒が全部ないと感じました。

2番目は、26年8月に苦情等々を感じられたとのことですが、分かったのは今年9月の話だろうと思います。それにしても1年くらい放置していらっしゃる。菌の問題もあったかとは思いますが、1年はあまりに長すぎるのではないですか。

それと、12月の補正予算(予定)とありますが、これはどのくらいの予算なのかなと思っています。とりあえず以上です。

旭産業建設課長

1点目のボイラの横棒ですが、あれは色々調べるとボイラで止まっていた。私が調べた範囲ではボイラで止まっていたので、敢えてボイラで止めさせていただきました。

仰るとおり昨年8月に運転を始めて、その間は特に問題ありませんでした。非常に増えてきたのが今年の1月頃から、特に苦情が多くなっていた。だいたいチップというのは冬になっていくと含水率が高くなっていくこともあり、その影響で苦情が出たのかなとイメージしていました。今回この状況がわかったのは、サイロの中のチップを全部外に出し、新しい乾いたチップを入れての試運転を計画し、中を空にした段階で初めて分かりました。通常はチップが入っているのだから水が入っているのは上からは分かりません。中を空にして初めてお湯が逆流して入っていると分かったのが、今年9月ということでした。

12月補正については、業者とも金額的にはまだ詰めていませんが、100万以内で何とか対応する予定にしています。

串崎委員 分かりました、帰って再度辞書を調べてみたいと思います。

旭産業建設課長 100万くらいなのですが、このチップボイラにする意味ですよ。多分環境に優しいとか燃料費削減のためにやっておられるのかと思いますが、その他にどのような理由でこれに拘っていらっしゃるのか伺います。

笹田委員長 仰るとおりです。地域の森林資源の有効活用というのが非常に大きな目的の1つですし、環境に優しい温泉施設というイメージアップをはかりたいという思いもありました。燃料費についても計画あるいは他の施設の事例を見ても、約30パーセントは削減出来る予定でしたので、そのような思いで導入させていただいています。いずれにしても自然に優しい取り組みをしているという思いで導入させていただきました。

原田委員 他に。

旭産業建設課長 まず1点は、木質チップはどこから納入されておられるかと、それから周辺住民の了解がありますよね、対象戸数はどのくらいありますか。それと、今までは周辺の旅館等へ支障がありますが、その辺で話が出ているのかどうか、お伺いします。

笹田委員長 現在納入していただいているのは石央森林組合です。周辺住民の戸数ですが、すぐ隣が個人住宅の方なのですが、個人宅で言えば10軒程度だと思います。営業上の課題、クレーム等は、他の施設からはそういう話（煙たい等）は、温泉組合さんが指定管理者でそれらの社長さんが代表になっているので、その所は上手くやられているのかなと思いますが、我々には特に大きなクレームは来ていません。

旭産業建設課長 あともう1点、周辺の了解の取り方は。

笹田委員長 この地域の集落代表の方を含めて実際においでいただき、ボイラを実際に焚いている所へ立会していただき、この煙、匂いなら良いだろうという判断をしていただこうと思っています。

笹田委員長 その他よろしいですか。

(「はい」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(6) 浜田市有施設における旭化成建材の杭工事実績について

笹田委員長 執行部から説明をお願いします。建築住宅課長。

建築住宅課長 (以下、資料をもとに説明)

笹田委員長 委員から何かありますか。

布施委員 連日メディアを賑わせましたが、浜田市には不具合発生の例はないとのことですが、今後建物等の不具合が出た場合、担当窓口になるのは県なのでしょうか、市なのでしょうか。

建築住宅課長 相談窓口は我々建築住宅課になるのかなと思いますが、実際に杭を施工するような大規模な建築物の指導的立場におられるのは県になりますので、相談事は県になるのではないかと思います。

笹田委員長 その他に。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(7) 市道路線等の現地視察について

笹田委員長

この件については現地視察は終了していますので、次へまいります。

(8) 三隅中央会館和紙の郷（石州和紙会館）について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。三隅支所防災自治課長。

三隅防災自治課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(9) 浜田城周辺整備検討会の設置について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。地域PRJ推進室長。

地域PRJ推進室長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

委員から何かありますか。

布施委員

スケジュールを確認します。城山公園整備を先にして、その後で歴史館の施設をやっていくのかということと、中期財政計画の中で、これも総務文教委員から指摘があったと思いますが、全体で18億の予算を見ているとのことですが、このためにまた違う試算をしないのか、お聞きしたいと思います。

地域PRJ推進室長

スケジュールは平成31年度の開府400年に間に合わせようと思うと、ここは文化財の関係で発掘調査も考えないといけないので、出来れば3月までにはきちんと方針を決定して、新年度で発掘事業等に取り組んでいけたらと思います。時期をずらしたのは色んな団体にヒアリングしていく中で、公園整備について概ね好意的な意見が多かったと思っていますが、施設については色々ご意見もあるため、少し時間をかけてやりたいので少しずつスケジュールで計画させていただきたい。

それから事業費ですが、主に大きな物となるとやはり箱物をどうするかになってきます。そこにどのような機能を整備して、そのためにどのくらいの規模のものが必要なのかを検討すれば、事業費はそれによって大きく動きます。中期財政計画の18億円については、昨年度に粗々の所ではじいたものですが、細かに詰めていけば概ねこの18億円に収められるよう努めていきたいと思っています。

布施委員

公園整備は必要だと思っていますが、箱物をもし作るのであれば200、300人の観客席を作って舞殿が必要だとかいう要請が神楽協議会から要請されたのではないかとと思っています。神社でやっている夜神楽は、集約してそちらでやっていくのか、それはそれとして置いておいて、これは観光客やイベント用に週末に使う施設として必要なのか。お考えを伺います。

地域PRJ推進室長

多目的ホールを整備するかどうか、これから議論が必要だろうと思っています。ただ、神楽専用施設として整備することについては、色々ヒアリングしていくと他にも活用したいという声もありますので、そこは多目的で多くの方が利用出来る施設を考えていかなければいけないと思っています。

そこに夜神樂を集約してくるかについては、社中さんのお考えもあるので、これから詰めていかないといけない問題だろうと思っています。ただ、作るのであれば多くの方に使っていただくことが運営上で一番重要なことなので、色んなイベントがここで開催出来るように検討していく必要があると思います。

笹田委員長
原田委員

その他に。

布施委員からも質問がありました。検討会で今後色々検討されると思いますが、浜田歴史神楽館の整備についてでもあるんですが、神楽館にされるのか歴史資料館と一緒にされるのか分かりませんが、何故神楽館が今回の話に出てきたのか、お伺いしておきたいと思います。

地域PRJ推進室長

元々こちらの御便殿については、市が譲渡を受けた時に浜田城の資料館として活用したいという民間のお声があり、期成同盟会も出ています。一方で平成24年3月頃でしたか、浜田市に神楽の伝承館のような物の必要性があるかどうか調査させていただいた時、そういうものは要るんじゃないかという意見がまとめられて、その過程の中でこの御便殿も候補として名前が挙がっていた。従って御便殿自体を歴史館として活用したいという意見と神楽館として活用したいという意見が、併存しているような状況です。今回浜田城の400年に合わせての施設整備を考える上で、上手く収拾していけないかという思いがあって、やるなら歴史資料館と神楽館を、こういう形なら収まるのではないかという叩き台を作っています。これからはっきり色んな意見を聞いていく必要があるかと思っています。

原田委員

今の御便殿は、歴史資料館や神楽伝承館として使えるのではないかと私は思います。今まで神楽というのは各自治区の地域住民が、一生懸命活性化のためにやっておられるわけです。そうしたものと兼ね合いと言いますか。地方創生が色々言われている中で、本当にこういう物があそこに必要なのかが、私は疑問でなりません。これは今までどおり、それぞれの自治区でやっておられるような方法で、郷土芸能の神楽を続けていっていただきたいし、そのことによって地域活性化がはかられていくわけなので、そうしたことを大切にさせていただく方が、より重要ではないかと思っています。検討会でどのようになるか分かりませんが、そういうことも頭に入れてやっていただく必要があると思いますし、また、神楽館という感じでやると……私は以前、安芸高田市の神楽ドームにも行かせていただきましたが、最初は結構来客があったようですが、去年聞いたところでは本当に人が少なくて、年間で約4,000万から5,000万ほど一般会計から繰入れしている状況で、議会からもやかましく言われているんだということを事務局の方から聞きました。そのように、作った時には多くの方が来るとは思いますが、将来的に……箱物の公共施設について色々と言われている中で、3億円ですか、金をかけてということになると、私はもうちょっと考えていく必要があるのではと思いますし、また、市民の皆さんの生活に密着したことで色んなことを要望しておられますよね、例えば浜田市東部では溝蓋がない所が多いんだとか、あるいは福祉にももうちょっと手厚く保護していただきたいんだとか、そういう生活に密着した事業をするべきじゃないかと私は思っています。検

地域PRJ推進室長

討会の中で色々な話があるかと思いますが、その辺を充分ご検討していただきたいと思います。何かコメントがありましたらお願いします。

ご指摘いただいた内容については、全ての社中さんのお声を聞くこともやっています。神楽にスポットを当ててもらい、貴重な資料をどこかで発信することについては賛成意見が多かったです。ただ、舞殿自体をどうするかについては色々な意見がありました。その辺りは少し整理していきたいと思います。ただ、専門のステージではなく他にも披露させてもらう場があれば良いと聞いていますので、総意の中でどういう形が一番望ましいのか、しっかり議論していきたいと思います。

笹田委員長
串崎委員

その他。

色々なことを含めて今から検討されるのは分かります。まず25人で組織とありますが、11月ですので検討委員の名前等が出ているのではなからうかと思っています。大学の先生等もいらっしゃるのかどうか気になった所です。

それともう1点は、予定でも構想でも良いですけど、やるにおいて維持管理費の問題と外貨が稼げるのか、その辺はどのような感覚でいらっしゃるのか聞かせていただきたいと思います。

地域PRJ推進室長

組織の中に県立大学の方が関わるかですが、大学の先生方にも入っていただきたいと思います。それから維持管理費については、どういう施設を整備するかにも関わってきますが、インシャルコストだけでなくランニングコストについても意識しながら、それを踏まえてどういう整備をするかの議論が必要だろうと思います。

外貨を稼ぐことにどう繋がっていくかですが、基本的にはこちらは市民の方の大切な憩いの公園として使っていただくのが第一だと思います。併せて歴史や文化の発祥として多くの方に浜田を知ってもらう機会にしたいと思います。ただ、城となると全国にも多くファンがおられたり、実際に司馬遼太郎の碑なんかを見に色々な方がおいでになっている状況も承知しています。市民が大切に場所にする場所に多くの方が来ていただけるようになれば良いと思います。情報をきちんと発信していけば、ここだけではなく他の拠点施設との繋がりの中で、今まで以上にお客さんが見えになるという場所にしたいと思います。

笹田委員長
原田委員

その他ありますか。

聞き忘れましたが、この中で歴史文化に関する資料の保存がありますよね、これは全体の自治区含めて……色々資料館がありますが、浜田には郷土資料館がありますが、そうしたものを集約するという考えなんですか。

地域PRJ推進室長

公共施設の再配置計画もありますので、浜田の黒川にある資料館ですとか、各自治区にあります歴史資料館や郷土資料館については、こちらが完成して機能がひとつに出来るなら、当然統廃合を計画したいと思っています。ただ、金城の施設については色々な事情がありますので、浜田市全体のものをここに集約出来るかどうかはもう少し議論が必要だと思います。基本的にはこちらに持ってきてきたいと思います。

笹田委員長
飛野副委員長

その他大丈夫ですか。私から質問したいので委員長を交代します。

笹田委員。

笹田委員長

設置目的の中で、市民に親しまれる森ということで、教育、観光、交流の拠点ということですが、私や牛尾博美議員は松原の出身で、ここにお客さんをお呼びしようと思うと、我々がよく通る道路が非常に危険です。雨が降れば石が転がってきますし、25年の水害時には2ヶ所で大きな崖崩れがあって道路が寸断されました。津波が問題になった際には、松原地区や殿町地区などはあそこに逃げれば良いという話にもなったんですが、いかにあそこに上がるまでのルートがない。しかもちょっと雨が降れば崖崩れが起こるのでかなり危険だという意見をお聞きしている中で、こういったことを1つも説明せずに良いことばかり並べて……あそこに住まわれている人は非常に不安ですし、人が来られて事故でも起こったとなると親しみが持てない森になるのではないかなと思うんですが、その辺をちゃんと把握されているんでしょうか。

地域PRJ推進室長

こちらを整備するにあたって色々な方にヒアリングを実施している中で、松原7町内から、万一津波が来た時の避難場所として高手に登る道の整備も出来ないだろうかというご意見を伺い、現地に出向いて一緒に現場確認をしています。ただ、松原の巖島神社の近くの城山側は地滑りの急傾斜地であり、仮にあそこに登る道を整備しても、地震や津波の発生時は危険です。従って非難をすることと城山整備をすることは、可能であれば道を付けることも検討できますが、しかし地理的に難しい点があるので、別途どういう方法が良いか協議させていただきたいということで、地元のご了解もいただいています。

笹田委員長

地元のことはそうですが、親しめる森になった場合にああいう所をきっちりしておかないと、災害時にお困りになると思うんです。市長は知っておられるか分かりませんが、ちょっと雨が降っただけであそこの道路に石が転がってきます。この表にありますけど、新しく正門ですか、松原湾から上がって行って、今は道がないんですが、63年災害の時にもあそこ崩れています。あそこを頑張って上がる道だと思いますが、地元の人もあそこならまだ上がれるんじゃないかなと思うんですが。そういった雨や雪の際に非常に危険だと思うんです。ああいった所をきっちり整備しておかないと、こういったことは謳えないんじゃないかなということを私は言いたいんです。どうでしょうか。

地域PRJ推進室長

もちろん斜面に新しく道をつけるとか、色々な新しいことをやろうと思えば、その周りの環境整備をどうしていくかもありきの話だと思っています。ただ、現状の中でどのような形が一番望ましいかは、ご意見を聞くだけではなく専門家のお知恵を拝借する部分もあろうかと思っていますので、その辺りも充分配慮しながら進めていきたいと思っています。

笹田委員長

委員長が長々しゃべってもいけないんですが。今我々が税務署の所から歩いて上がろうと思うと、階段をあがって道を上げて神社に繋がるんですが、実はその道路の横側の土も崩れているのをご存知ですか。あそこももう崩れているんですよ。今ですら危険があるような状況の中で、そういったことの整備が決まってないにも関わらず、よくこんな夢のような話が出るなど、住んでいる人間としてすごく思うわけですよ。あそこの斜面もきっちりして、これからは親しい森にするんだと言うなら分かるんですが、現在でも非常に危険だと思う中で、よくこれだけ

歌が歌えるじゃないですが、検討委員会も設置してそういったことも議論されないまま進んでいくのか、私は疑問に思うし不安に思っているんですよ。そういったことも市としてちゃんと把握して、ここもきっちりするんだ、まず現状を良くして城山整備に取り掛かるならまだ分かるんですが、現状がこういった状況の中でこんなことを出されても、私はどうなのかなと思うから言わせていただいているんですが。ご意見があれば。

地域PRJ推進室長

今回、平成31年の開府400年に向けて、こちらを市民の憩いの場として整備したいとのことなので、城山周辺の環境がご指摘のように厳しい所を含めて、どのような整備をするべきかも今後検討してまいりたいと思います。

飛野副委員長

良いですか、はい。

笹田委員長

原田委員。

原田委員

浜田開府400年はオール浜田でやるんだという話だったんですが、この前の時も私は発言させていただいたんですが、要するに浜田藩と津和野藩というのが浜田市にあるわけですが、津和野藩は浜田藩開府400年事業の中で、どのように組み込んでいかれるのかお伺いしたいと思いますし、津和野藩のことについては私も教育委員会で川本職員さんに色々お話を聞いたんですが、あそこで聞いても津和野藩についてはあまり分からないんですよね。そういう状況の中でこういったことに組み込んでいただくということになると、かなりなことをしていただかないと。いい加減なことでやってもらったら困るなど思っているんですが、その辺はどのように組み込んでいかれようとしているのか。基本的なことで良いのでお答えください。

地域PRJ推進室長

まず浜田の貴重な歴史について、きちんと発信出来ることが重要だろうと思っていますので、そのために浜田城に関する資料だけではなく、オール浜田の色々な貴重資料を集めたい。当然、藩政の成り立ち等も含めて、津和野藩と浜田藩がどうなっているのかもきちんと整理して、こちらで情報発信が必要ではないかと思っています。また今回400年に合わせてやっていく計画ですが、プレイベント等も色々計画していかなければならない中、折々に触れて浜田藩のみならず津和野藩についても少しお伝え出来ることがあれば、計画の中で揉んでいく必要があるのかなと思います。

原田委員

分かりました。浜田藩のことはよく分かるんだと思いますが、津和野藩については教育委員会に行って聞いてもなかなか分からないという状況ですので、これは教育委員会サイドになるかと思いますが、この中に組み込んでいただくことになると、しっかりその辺は調査していただいて組み込んでいただきたいと思います。

地域PRJ推進室長

浜田城の一番シンボルチックな県庁門も津和野藩から頂戴している物ですので、そのようなことももう少し目の目に当たって多くの方が分かるようにすることも大事だと思っていますので、ご指摘の点は教育委員会と一緒にしっかり議論したいと思います。

牛尾博美委員

笹田委員長と同じ所に住んでいる者として、この浜田城は我々の遊び場でもあったし、公園でもありました。非常に身近に感じているがゆえ

に、委員長が先ほど仰ったような、現実味を帯びた災害の話、緊急避難の話、現状を聞いたところです。私が思うに、この浜田城周辺整備検討会の構成員の中に、地域協議会の代表が入っているかもしれないが、殿町・松原、場合によっては港町といった城山周辺地区の人が全く入っていないんですよ。何故かと言うと書いてあるように、一番大事なのはこの近辺を「市民に親しまれる森として」と大きなタイトルで謳っておられるわけです。そして開府400年に向けて大きな意味で、素晴らしい観光資源であり教育・観光の交流拠点とのことで開府400年に向かってやられるんですが、その後も含めて地域の人らがここへ寄って草刈りするとか、あるいはごみを拾うとか、自分たちの公園だというような意識を培っていないといけないと思っていますよ。だから、400年を迎えて1発で終わりというのではなく、大事な浜田市の自然の森なので、市民に親しまれるには検討会の中に地元代表を入れて欲しいと思うんですが、その辺はどうですか。

地域PRJ推進室長

今回はオール浜田ということで全ての自治区の方に入っただけのようにと考えて、少し通常の検討会よりも規模は大きめかなと思っています。数が限られる中で多くの人に入っただけきたいんですが、検討会だけではお声が聞けないことも重々承知していますので、地元の町内会については出向いてヒアリングをさせていただくといった方法で多くの意見を聞かせていただきたいと思います。

牛尾博美委員

細かなことは地域の人しか分からないし、問題なのは大きな視野で構成員を25人以内で選ばれるんだけど、別に人数を制限しなくて良いんですよ。様々な観点から浜田城周辺の計画が、より市民に親しまれて素晴らしい資源、市民に親しまれる森になれば良いわけです。だから25人に拘ることは何もないんです。だから地域住民も入れて、この部分については非常にマクロ的かもしれないけど、でも実際にそこで何十年も生活している人たちの視点も必要だと私は思っています。もう1つは、これが出来上がっても人に来てもらえず放置になるような整備計画になつては全く無意味なんです。地域の人たちが自分たちの城山だと、あるいは浜田市の人たちが自分らのもんだというような意識を醸成していくのが、これから永続的にこの近辺が親しまれる森に繋がっていくんじゃないかと思います。ただ地元の人を入れれば良いという問題ではもちろんありませんが、そういう所も加えて、そういう視点も必要だと私は思っているので、是非地元の人も加えながら、避難路も含めて。例えば神楽館の所でドンチャカやったとすれば、港町近辺は非常にうるさくてしょうがないかもしれない。そういうことも現実的に考えてみると色んな問題が出てきます。しかしその近辺に全く住んでない人は全くそんなことは想定しないから、良いわ良いわということになるかもしれません。そういう面で、様々な観点から検討をしていただきたいので、地元民も加えていただければ、参考になったり将来的にも良くなるんじゃないかと思いますが、どうですか。

地域PRJ推進室長

地元の皆さんに対する説明というのはきちんとやらなければいけないのは重々承知しております。検討会の中で代表の方に意見をいただくことと、地域に入って皆さんにしっかり意見を聞くことと、どちらが良い

かなと考えると私は特に地元に近い人には、そこでしっかりお声を聞く方が良いだろうと思っています。そこでいただいた意見等を検討会にフィードバックするのが一番良いのかなと思っていますので、その上で更に代表を入れるのはどうだろうかというのは、検討させてもらいたいと思います。地元への説明会はきちんとやりたいと思います。

牛尾博美委員

今言われた部分で一番問題なのは、決まった後で地域に言ってもらっても駄目なんです。問題はそこですよ。むしろ地域の声を吸い上げた部分を検討委員会の中にプラスアルファで計画に組み込んでいくというのなら分かるが、検討委員会の中で決まりましたから地域の方は我慢してください、これは決定事項ですから、というような報告では駄目ですよ。その辺分かってますか。

地域PRJ推進室長

決定ではなくて、その過程で色んなご意見を頂戴する場を設けたいと思っています。それからメンバーについても、入れることを前向きに考えたいと思います。

笹田委員長

前向きに考えるということではよろしいでしょうか。はい。その他。

飛野副委員長

市民に親しまれる森ということで、今日コンサルの資料をいただきました。そこには基本的な考え方というのが書いてあります。その中でお聞きしたいのは、浜田の木はあるけど浜田の花が何故出て来ないのか。

地域PRJ推進室長

現在の城山の植生等を考えた時に、ここは県立の自然公園の指定等も入っているので、全く新しいものをそこに育てていくというのは、コンサルも事務局も持ち合わせていませんでした。現在ただ椿と桜、指定している2つの木があることが分かったので、これについては整備計画の中でどのようにしていくかというのがありますが、その植生を大事にしながら何とか皆さんにもお伝えしていく、そういう概要になるんじゃないかと思っています。

飛野副委員長

是非とも入れていただくようお願いしておきます。また、できれば展望等についても、不要な木を伐採という話がありましたが、ちょっと限度があると思います。折角の素晴らしい眺望です。ちょっとでも高い位置から見られる、例えば15メートルでもあれば大いに見渡せる。15メートルというのは以前の天守閣の高さです。何とかそういうのも踏まえて憩いの出来る自然の森を目指していただきたいと思っています。

地域PRJ推進室長

天守閣あるいは見晴らし台の復元というのは、今回色んな規制のある本丸の中でどのくらいできるかと思っています。飛野委員さんは以前も一般質問でこのことについてご意見を頂戴していますので、その可能性について、皆さんはどのようにお考えなのか少し話し合いをしたいと思います。

笹田委員長

1時間経過しましたが、このまま続けさせていただきたいと思います。

(10) その他

笹田委員長

その他、1点報告があるのでお願いします。浜田港長期構想検討委員会について、執行部から説明をお願いします。産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

委員からご質問やご意見等がありますか。

串崎委員

内容は分かりました。普通、設置目的とかああいう文書的なものがあ

産業経済部長

るような気もしますが、そういうのはないんですか。

委員会は動きだしてしまっていて、そういった長期の設置目的等ございます。委員会の時にもお示しされたわけですが、先般10月29日に開催され、今回の調査会では是非報告しておかなければいけないということから、こういった資料に留めさせていただきました。大変申し訳ございませんでした。

笹田委員長

他にありませんか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

では従来どおり、全員協議会に資料提出すべきもの、資料配布のみとすべきもの、提出の必要はないとするもの、決定したいと思います。

- (1) 配布のみ
- (2) 配布のみ
- (3) 配布のみ
- (4) 配布のみ
- (5) 報告すべきもの
- (6) 不要
- (7) 不要
- (8) 配布のみ
- (9) 報告すべきもの
- (10) 報告すべきもの

2. その他

笹田委員長

以上で全て終了しましたが、その他の項目で執行部の皆さんから何かありますか。

(「ありません」という声あり)

委員の皆さんから何かありますか。

(「なし」という声あり)

ないようですので、執行部の皆さんは退席されて結構です。

《 執行部退室 》

次ですが、要望書の提出の資料があると思います。皆さんありますか。主要地方道浜田美都線の早期全線2車線化を願う会よりありました。内容は要望です。資料を配布していますので是非ご覧になってください。

他にありますか。

原田委員

観光協会の総会がえらく遅い時期に開催されています。

笹田委員長

観光協会の総会ですか。

原田委員

総会。これ言うと、支部にありますよね、それぞれ。聞きますと10日くらい前にあったようなんですが、早くやってもらわないと事業に反映が出来ないんじゃないかと思います。市も3千数百万か、観光協会本部へお金を出しているわけなので、委員長なりにその辺の事情を聞いておいてもらえれば良いなと思って。

笹田委員長
原田委員

笹田委員長
原田委員
笹田委員長

はい分かりました。
何でそうなったのか。どこもそうなのかというのが私も分からないんですが、
支部を含め総会の状況ですね。
はい。
正副委員長で聞いて、またお示ししようと思います。
その他ありますか。大丈夫ですか。
(「はい」という声あり)
他にないようですので、以上で産業建設調査会を終了します。

[14 時 26分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 笹 田 卓 印